

# 平成 1 6 年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	3 6	学校名	笠間高等学校				課程	全日制			学校長名	大塚好雄				
教頭名	根本茂雄								事務(室)長名	吉原たか子						
教職員数	教諭	36	養護教諭	1	常勤講師	7	非常勤講師	3	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	5	技術職員等	2	計	57
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		計		合計	クラス数			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	103	97	109	57	104	71			316	225	541	15			
	普通科	9	30	16	11	12	25			37	66	103	3			
	工芸デザインコース															
合計	112	127	125	68	116	96			353	291	644	18				

## 2 目指す学校像

社会人としての基本的な生活態度を身につけ、責任ある生き方のできる誠実、勤勉かつ自律的な人格を育成する。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	・ 常時授業規律を正しながら、授業方法の改善・工夫に努めている。	・ 基礎・基本の内容の定着を図る。 ・ 個性を生かす学習指導や学習形態の工夫に努める。
進路指導	・ 主体的に進路選択ができる職業観の育成に向けて取り組んでいる。	・ 進路決定率を8割から9割に高める指導を行う。
生徒指導	・ 生活態度やルールに関して、流行や刹那的欲求に左右されがちな生徒が見られる。	・ 具体的な指導事項や指導目標の実践から正しい認識を育成する。
特別活動	・ 学校行事への参加率は高いが、ホームルーム活動内容は不活発なところがある。	・ 自主的にホームルーム活動に参加するための工夫に努める。

## 4 中期的目標

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 生徒自身が、10年先の自分を考え、目標を持って学ぶことができるよう指導し、生徒の自己実現を支援する。       |
| 2 | 学ぶことの楽しさや成就感を味わうことができる体験的な学習や問題解決的な学習の場を用意する。            |
| 3 | ゆとりある人間性豊かな教育活動を展開し、基礎・基本を確実に学習させることにより、生徒の進路選択の幅の拡大を図る。 |
| 4 | 美術科設置を目指して、教育課程の編成と施設設備の具体案を検討し、早期実現に向けて努力する。            |

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間の確保</li> <li>・授業時間数の確保</li> <li>・将来の生き方や生活について夢や希望をもてる指導</li> <li>・規範意識の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイムからチャイムまでの授業の実践</li> <li>・授業交換の徹底</li> <li>・「進路の手引き」の有効活用</li> <li>・生徒・保護者へのガイダンスや個人面談等の助言指導</li> <li>・高校生さわやかマナーアップ事業との連携</li> <li>・のぞましい基本的生活習慣の育成</li> <li>・ホームルーム活動の充実</li> <li>・部活動参加率の向上</li> </ul>	
2年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律の確立</li> <li>・授業の内容充実</li> <li>・のぞましい勤労観、職業観の育成</li> <li>・進学する目標の明確化</li> <li>・問題行動への迅速な対応準備体制作り</li> <li>・考え方や感じ方への共感的理解や態度などの関わり方の工夫・努力</li> <li>・特別活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習用具の準備と学習環境作り</li> <li>・生徒の実態にあったわかりやすい授業の工夫・改善</li> <li>・先輩による職業講話や職場体験学習等の実施</li> <li>・進学可能な学校の選択から進学したい学校の選択へ</li> <li>・授業担当者が頭髪服装・学習態度の点検を行う体制作り</li> <li>・教育相談職員研修</li> <li>・「心の居場所」としてのホームルーム経営の工夫改善</li> <li>・体験的な活動を重視した「心の教育」の展開</li> </ul>	
3年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態に合った授業法の確立</li> <li>・保護者への啓発</li> <li>・学校・家庭・地域社会・関係機関との情報及び行動連携の一層の推進</li> <li>・「総合的な学習の時間」との相互関連による特別活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校生に必要な基礎・基本の教材化</li> <li>・進路相談の計画的・継続的实施</li> <li>・親の声、地域の声を受け止め、関係機関とも尚一層連携・協力して問題を解決する態勢づくりや、生徒が安心して生活できる環境づくり</li> <li>・ボランティア活動や自然体験活動等地域の教育力を生かした活動の工夫</li> </ul>	